

3/5/00

3/6/05 改定

東予リ ーグ事務局

県リ ーグ チャレンジマッチ 推薦基準(改定)

平成 10 年度実施で①県リ ーグ昇格希望チームの運営・意識レベルの向上 ②未来永劫、誤りの無い東予リ ーグ事務局の推薦判断 を考慮して推薦基準を確立した(12/3 運営会議決定事項)。しかし、平成 10 年度末の運営会議で改定案が出されたのでそれを以下に示す。

さらに平成 11 年度からの県リ ーグ 審判体制の変更により平成 12 年度以降は以下の基準で実施する(平成 11 年度 12 月運営会議決定事項)。

1. 県リ ーグチャレンジマッチ参加の推薦を受ける条件として、その年度の優勝、準優勝のチームであり、5 年以内に各部代表者を経験していること。ただし県リ ーグ降格チームは5 年以内であれば後者条件を満たしているものとする。

***チームの運営能力が県リ ーグへ対応できるように東予リ ーグで育成する。**

2. 県リ ーグチャレンジマッチ参加の推薦を受ける条件として、チャレンジマッチまでにそのチーム内で7 名以上の審判員をチーム内に有し、うち5 名以上の有資格(その年に更新を行っている) 3 級審判員を確保していること。

***主審が実際にできる 3 級審判員が少なくとも 3 名いなければ現行の県リ ーグ審判体制に対応できない。審判部への登録を行い、派遣審判として県リ ーグの主審を体験していく。**

3. 県リ ーグチャレンジマッチ参加の推薦を行う 前に事務局は当該チームについて上記1 ~2 の内容について確認し、当該チーム代表者に①チーム内収支 ②参加部員状況(年間試合平均参加人数が 12 名以上で、一度も 11 人を下回ったことがないこと) ③その他 についてのヒヤリングを実施して推薦を行う こととする。尚、リーグとしての最終決定は年度最終運営会議にて決議するものとし、選出責任は運営会議とする。事務局はその決定チームを県リ ーグへ推薦する。

チャレンジマッチ参加チームは、県リ ーグ昇格への意思表示を書面にて行う(東予リ ーグ事務局へ提出)。

***チーム代表者が責任を持ってチームを統括しているかどうかの確認を行う。**

以 上

県リーグ昇格のためのチャレンジマッチ参加意思 表明

意思表示:

年月日:

チーム名:

代表者名: